



みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146 (代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

- ＜目次＞ ● 清水港で「大規模津波防災総合訓練」が行われました（1）
● 「風向き」 清水港湾事務所長 奥田 薫（1）
● 平成21年『海の日』式典が開催されました（2）（3）
● 田子の浦港岸壁工事見学会を開催します（4）
● 御前崎港「海王丸」・清水港「清龍丸」一般公開が開催されました（4）

実際に津波が来たら・・・大規模津波防災総合訓練を実施しました。

7月4日（土）清水港貝島地区をメイン会場とした「平成21年度 大規模津波防災総合訓練」を実施しました。

訓練には、消防や医療機関、海上保安部、自衛隊、電気・ガス・水道関係、NPO、地域住民の方々などの51団体が参加し、大規模な地震とそれによって発生する津波被害を想定し、被災情報の収集・伝達、住民や船舶の避難、ヘリコプターによる漂流者の救助、堤防・道路の応急復旧、車両や倒壊家屋からの被災者救出など、様々な訓練を行いました。

港湾関係では、津波によって海上に流れ出したコンテナを、起重機船で引き上げる訓練や、緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」と港湾工事関係団体が連携し、岸壁など港湾施設の被災状況を調査する訓練、被災者や緊急支援助物資の海上搬送訓練、大型しゅんせつ兼油回収船「清龍丸」による流出油防除訓練などが行われました。

また、サテライト会場を三保宮方三区と沼津港に設定し、三保宮方三区では避難の呼びかけや避難場所までの誘導などの訓練が行われ、沼津港では沼津我入道漁業協同組合により、26隻の漁船を狩野川河口から安全な沼津港内港に避難させる訓練を行いました。

災害時には、各々のもつ「力」を最大限に発揮し、また、相互に連携して、被害の低減、早期復旧に努めなければなりません。今回の訓練から得た課題を踏まえ、今後一層の防災対策に努めて参ります。



起重機船・潜水士らによる、漂流コンテナの引き揚げ



海上輸送された緊急物資を陸上輸送トラックに積み込む訓練



「清龍丸」の水ジェット集油装置を使った流出油の回収訓練

「風向き」

清水港湾事務所長 奥田 薫

海の日記念式典・海事関係功労者等表彰が7月22日清水マリンビルにて行われ、清水港湾事務所長表彰もこの中で実施しました。式典における表彰の場ですので表彰状授与の場面で各位に「おめでとうございます」と申し上げました。個人的には、昨今の風向きからして「ありがとうございます」とも言うべきだったような気がしています。厳しい世界経済不況の影響が直接的となっているものづくり圏・中部地区海事港湾関係の皆様のご多大なご苦勞に対して、またそれにも増して対象の多くの皆様から「励みになります」と表彰に意義を感じていただいていることに対する思いとしてです。

“表彰”という行為には直接的経済効果はないかもしれませんが、式典での主催・来賓の皆様の挨拶でも触れられていた“海洋国家である我が国の海事の重要性”を改めて認識し、関係者一丸となって不況という逆風に立ち向かい・乗り切っていくための一助にもなることを願っています。また、自らも関係者のひとりとして、「励み」に思っていたいただいたことを励みに、行政の立場からできることを速やかにやっていきたいと思えます。

平成21年『海の日』式典が開催されました。

7月22日(水)に港湾会館清水日の出センター(清水マリンビル)において平成21年「海の日」式典が開催され、海事関係功労者表彰、海の図画コンクール表彰と“きれいな川と海”“美しい港”を守る標語コンクールの表彰が行われ、総勢94名の方々が受賞されました。

始めに、金子一義国土交通大臣の式辞(山下正晴中部運輸局静岡運輸支局長代読)があり、「我が国は古来より広く海の恩恵を受けてきており、海事産業は我が国の経済社会の基盤として重要な役割を果たしてきました。本日の式典は、海の恩恵に感謝し、海を大切にすることを育み、大切な海を守ることや、海事関係業務を通じて我が国を支えてきた方々の業績に感謝を申し上げるためのものです。これまでの貴重な知識と経験を元に、今後も後進の指導にあたられるよう、お願いいたします。」と読み上げられました。

続いて、それぞれの機関から表彰状が授与されました。(清水港湾事務所関係の表彰は次のとおり)海の図画コンクールや標語コンクールの表彰では、受賞した小中学生ひとりひとりに表彰状が手渡されました。

式典の最後に、清水港開港110周年記念事業の一環として、清水港のこれまでの歴史をまとめたデジタルブックが上映され、清水港の昔の様子を垣間見ることができました。



表彰者の皆様のご紹介



中部地方整備局長感謝状
港湾振興発展
～大井川港の振興発展及び整備促進～
前大井川町長
池谷 薫 氏

過日の海の日のご招待をいただきありがとうございました。

式典の中、私が在職中に取り組んだ港湾の振興と海岸の整備が、みなとの発展と海岸保全に寄与したとして中部地方整備局長様より感謝状をいただき、たいへん感激しました。

旧大井川町は、町営大井川港の発展とともに町も発展することができました。

昨今、国と地方の問題が大いに取り沙汰されておりますが、自分たちが率先して何をするかを選択し、国の力を借り、力強く一生懸命頑張る事で道は開けるものと信じております。

これからも、港湾の発展のために微力ではありますが応援していきたいと思っております。

皆様の変わらぬお力添えをお願いしまして、お礼とさせていただきます。



中部地方整備局長表彰
港湾振興発展
～清水港の振興発展及び整備促進～
清水港利用促進協会
常務理事 初又 健三 氏

此度の授賞に、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

清水市入船町に育ちました。夏は近所の腕白仲間達と現ドリームプラザ前の海へ出掛け、海に浸かっている内に泳ぎを覚えました。真冬の夕方、テルファー下の水面貯木場で仲間と乗った材木から海に落ち、震えながらの帰宅も今は遠い思い出です。当時、我が町内では何処の家庭も子供が多かった為、上級生が親の代わりに下級生の面倒を見ていました。

小学生高学年の夏休みには、家業の内航船で父に連れられ九州・関西等への船旅を楽しむと同時に船酔いに苦しめられました。

大好きな海とは、切れない縁がずっと続いています。



中部地方整備局長表彰

永年勤続表彰

株式会社橋本組
法月 利春 氏

このたびは、永年勤続と言う重き賞を頂き、感謝の念に絶えません。

株式会社橋本組に入社し35年にわたり清水から御前崎の海岸工事に携わって参りました。

海岸線が著しく様変わりする中で、永年にわたり海岸工事に従事できたことに万感の思いが御座います。

海岸工事に従事する仲間を代表し、表彰して頂きましたが、今後も今回の表彰に恥じぬよう海を愛し、住みやすく、使いやすい、海岸づくりを目指して精進して行く所存でございます。

清水港湾事務所長表彰

海をきれいにするための一般協力者表彰

NPO法人 夢生の会

活動内容

- ・清水マリンパークの清掃
- ・花の植栽等の緑化活動



花の植栽

静和工業株式会社
株式会社古川組静岡支店
鈴与建設株式会社

活動内容

- ・清水港日の出地区の清掃
- ・三保羽衣の松周辺の清掃
- ・御前崎港西ふ頭の清掃



三保羽衣の松周辺の清掃活動



御前崎港西ふ頭周辺の清掃

優良工事施工者等表彰

平成19年度 田子の浦港中央地区岸壁(-12m)
(改良)土留及控工事



中部地方整備局長表彰

株木建設株式会社 名古屋支店
株木建設株式会社 名古屋支店 監理技術者 現場代理人 兼任 島田浩一 氏

清水港湾事務所長表彰

株式会社種瀬組
株式会社種瀬組 主任技術者 種瀬一孝 氏

清水港湾事務所長感謝状

錦海運建設株式会社

平成20年度 御前崎港防波堤(東)築造工事



清水港湾事務所長表彰

青木建設株式会社
錦海運建設株式会社
錦海運建設株式会社 主任技術者 大黒安重 氏
株式会社菅原組
株式会社菅原組 主任技術者 平沼雅俊 氏

清水港湾事務所長感謝状

東海潜水工業株式会社
有限会社サダ海洋土木

大型しゅんせつ兼油回収船「清龍丸」の一般公開を開催しました。

去る7月5日(日)、清水港日の出頭4号岸壁にて、「清龍丸」の一般公開を開催しました。

清龍丸は、普段は名古屋港で船の通る航路を整備する浚渫(しゅんせつ)を行っていますが、大量油流出事故が起きた際には「油回収船」として出動する船です。

今回、1面の記事のとおり、前日の4日(土)に行われた大規模津波防災総合訓練に参加するため、清水港へ来港したことにあわせ、一般公開を開催しました。

公開当日は、391人もの方にご来場いただきました。来場された皆様からは、赤色の油回収器や操舵室など、清龍丸の装備について様々な質問をいただき、防災への関心の高さが伺えました。



熱心に操舵室の装備に見入る見学者

【お知らせ】田子の浦港岸壁工事見学会を開催します

田子の浦港中央地区で整備を進めている岸壁工事において、岸壁の主構造となるジャケット(鋼鉄製の岸壁の基礎)が、海上輸送されて田子の浦港に到着します。

この機会に、ジャケット並びに工事状況を皆様にご覧頂きたく、以下のとおり見学会を開催いたします。

- 1) 日時:平成21年8月28日(金)13:00~14:00
- 2) 場所:田子の浦港中央ふ頭2号岸壁
- 3) 申し込み:電話055-5548-8686(NTT ハロダイヤルサービス)
(申込期間:7/24~8/15 まで)
※上記申し込み番号で、開催日の中止・延期もご案内します。
- 4) 問い合わせ:清水港湾事務所 企画調整課 太田・屋敷
電話054-352-4148



【ジャケットの概要】
幅 37.6m・奥行 14.4m・高さ 13.5m
重量約300トン(大きさはテニスコート1面程度、ジャンボジェット機1機分程度)

御前崎港に海の貴婦人 帆船「海王丸」が舞い降りた!

独立行政法人航海訓練所の練習帆船「海王丸」が、国立清水海上技術短期大学校生99名を乗せて、7月24日(金)に御前崎港中央ふ頭に初入港しました。

25日(土)にはセイルドリルの披露、26(日)には一般公開が行われ、幼児からご年配の方まで、連日、本当に多くの方が見学に訪れていました。

歓迎式典では、石原茂雄御前崎市長が「御前崎港に入港いただけただことに、市民を代表して心より感謝を申し上げたい。」と挨拶し、見に来られていた地元の方からも、「御前崎港に来てくれて本当にうれしい!」「近いので、時間を気にせずゆっくりと見ることができる。」などの歓迎の声を聞くことができました。

また、実習生からは、「自分の故郷に寄港することができてうれしい。一般公開では7000人もの方に来ていただき、地元の方とたくさん触れ合うことができた。」と感想をいただきました。

セイルドリルを見に来ていた実習生のご家族の方が、心配そうに、でもどこか誇らしげに見守っていたのが印象的でした。



【セイルドリル】約70分かけて、36枚の帆を張りました。



マストに実習生が登り、「ごきげんよう!」とあいさつしました。

【登橋礼(とうしょうれい)】雨による中止も検討されましたが、「是非見ていただきたい!」との実習生の申し出により、登橋礼が披露されました。

海とみなとの相談窓口



055-5548-8686
PHS
全国共通フリーダイヤル
おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間:9時30分~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く) その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください
☆携帯電話・PHSからもご利用できます☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

■本紙に関するお問い合わせ先■
清水港湾事務所 企画調整課
太田・屋敷 Tel. 054-352-4148
ご意見ご感想をお寄せ下さい。
shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp

